海と毒薬 (1986)

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 123分

初公開日 1986/10/17

公開情報 ヘラルド

【解説】

太平洋戦争末期に実際に起こった米軍捕虜に対する生体解剖事件を描いた遠藤周作の同名小説を、社会派・熊井啓監督が映画化した問題作。敗色も濃厚となった昭和20年5月。九州のF市にも毎晩のように米軍機による空襲が繰り返されていた。医学部の研究生、勝呂と戸田の二人は物資も薬品も揃わぬ状況下でなかば投げやりな毎日を送っていた。そんなある日、二人は教授たちの許に呼び出された。それは、B29の捕虜8名を使った生体解剖実験を手伝えというものだった……。

【クレジット】

監督 熊井啓

製作 滝島恵一郎

プロデューサー 大塚和

宮川孝至

原作 遠藤周作

『海と毒薬』

脚本 熊井啓

撮影 栃沢正夫

美術 木村威夫

編集 井上治

音楽 松村禎三

助監督 高根美博

ナレーション 平光淳之助

出演 奥田瑛二

勝呂研究生

渡辺謙 Ken Watanabe

戸田研究生

岡田真澄

ハットリ調査官

成田三樹夫

柴田助教授

西田健

浅井助手

神山繁

権藤教授

岸田今日子

大場看護婦長

根岸季衣

上田看護婦

草野裕

辻萬長

津嘉山正種

千石規子

黒木優美

戸川暁子
田村高廣 Takahiro Tamura 橋本教授